

科目名	フレッシューズセミナー			ナンバリング	FYE111	授業形態	演習
対象学年	1年	開講時期	前期	科目分類	必修	単位数	2単位
代表教員	瀬戸愛子	担当教員	久米美代子、鹿兒島正豊、橋本知子、レンデンマン美智子、富岡節子、後藤恭一、鈴木直子、鈴木祐子、木村奈緒				

授業の概要	<p>本学の初年次教育の一環として開講される新入生全員を対象とした必修科目である。大学生としての学修のために必要な基礎的かつ汎用的な能力を育成することを目標とする。特に履修の仕方や学修の概念を学び、高校から大学へのスムーズな転換教育を行う。また、様々なスタディ・スキルズ(ノートの取り方、講義の聴き方など)を学び、さらにアクティブ・ラーニングを通して、「聞く・話す・調べる」技法を学修する。あわせて社会で通用する良き習慣を身につける。</p>						
到達目標	別紙参照						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義やグループディスカッションをする予定のテーマについて、事前に資料などを調べ、自分の考えをまとめて臨むこと。 ・時間外でのグループワークや幅広い情報収集が必要となるため、主体的な態度で臨むこと。 						
ディプロマポリシーとの関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	<input type="radio"/>	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	<input type="radio"/>	2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	<input type="radio"/>	3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
	<input type="radio"/>	4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
別紙参照	別紙参照

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
リフレクション・シート	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				20%
授業内・授業外レポート	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		40%
プレゼンテーション (ポスター・パワーポイント)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		40%
授業態度・授業への参加			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			加点はしないが 減点となることがある
出席			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			加点はしないが 減点となることがある

課題、評価のフィードバック	<p>1.全ての提出物はmanab@IMUへ提出し、コメントは担当教員が適宜行う。</p> <p>2.グループワークについてのコメントは、講義中にグループ毎に適宜行う。</p> <p>3.評価の結果は要請があればいつでも開示する。</p>
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考	
				時限	担当者
授業計画	第1回	スタートアップ研修1	グループワークを通して、協同の重要性を学ぶ	4/2	
	第2回	スタートアップ研修2	グループワークを通して、協同の重要性を学ぶ	4/2	
	第3回	スタートアップ研修3	グループワークを通して、協同の重要性を学ぶ	4/2	
	第4回	スタートアップ研修4	グループワークを通して、協同の重要性を学ぶ	4/2	
	第5回	スタートアップ研修5	グループワークを通して、協同の重要性を学ぶ	4/3	
	第6回	スタートアップ研修6	グループワークを通して、協同の重要性を学ぶ	4/3	
	第7回	オリエンテーション	1) 授業概要、進め方、到達目標、受講の心得を学ぶ 2) シラバスの見方・考え方、学修への活用方法を学ぶ	4/3 3限	瀬戸
	第8回	アカデミック・スキル1 ・大学生活のルール	1) 学生手帳を利用し、大学生活のルールとマナーについて学ぶ 2) SNSの利用方法について、看護師に求められる守秘義務も含めて学ぶ	4/3 4限	瀬戸
	第9回	アカデミック・スキル2 ・話の聴き方 ・調査に必要な情報を収集するスキル	1) メモ・ノートの取り方、レポートの書き方、レポート作成の書式、キーワードの使い方、レポート内の文献記載方法について学ぶ 2) 図書館の利用方法について学ぶ 3) 外部データベースの使用法について学ぶ	4/9 1限	木村
	第10回	アカデミック・スキル3 ・話の聴き方 ・調査に必要な情報を収集するスキル	1) メモ・ノートの取り方、レポートの書き方、レポート作成の書式、キーワードの使い方、レポート内の文献記載方法について学ぶ 2) 図書館の利用方法について学ぶ 3) 外部データベースの使用法について学ぶ	4/9 2限	木村
	第11回	アカデミック・スキル4 ・講義を受講するためのスキル ・自分史・学習ポートフォリオ作成のためのスキル	manab@IMUの利用方法について学ぶ	4/9 3限	鈴木祐
	第12回	アカデミック・スキル5 ・グループワークに関連したスキル ・インフォメーションリテラシースキル	1) グループワークの取り組み方、課題の意図を正しく捉え課題に沿ったテーマを設定する必要性について学ぶ 2) 収集した情報を信頼性、関連性、正確性、真正性などの点から批判的に分析・評価する必要性について学ぶ	4/16 1限	後藤
	第13回	福島を知る1 テーマの選択	1) 第12回から第24回までの概要についてオリエンテーション 2) 福島県の被災と現在の状況について等、調査したいテーマを選定する	4/16 2限	瀬戸
	第14回	福島を知る2 テーマの調査	テーマに関する情報を適切に収集し、収集した情報を整理する	4/16 3限	G担当教員
	第15回	福島を知る3 テーマの調査	テーマに関する情報を適切に収集し、収集した情報を整理する	4/23 1限	G担当教員
	試験				

	回次	テーマ	授業内容	備考	
	授業計画	第16回	福島を知る4 テーマの調査	テーマに関する情報を適切に収集し、収集した情報を整理する	4/23 2限
第17回		アカデミック・スキル5 ・プレゼンテーション・スキル	1) プレゼンテーションの構成や資料の作り方(PPT, ポスター)、話し方、効果的な質疑応答について学ぶ 2) プレゼンテーションの聞き方、質問の仕方について学ぶ	4/23 3限	後藤
第18回		福島を知る5 ポスター作成	グループディスカッションや講演会より学んだことをテーマに沿ってまとめ、プレゼンテーション資料(ポスター)を作成する	5/7 1限	G担当教員
第19回		福島を知る6 ポスター作成	グループディスカッションや講演会より学んだことをテーマに沿ってまとめ、プレゼンテーション資料(ポスター)を作成する	5/7 2限	G担当教員
第20回		福島を知る7 ポスター作成	グループディスカッションや講演会より学んだことをテーマに沿ってまとめ、プレゼンテーション資料(ポスター)を作成する	5/7 3限	G担当教員
第21回		福島を知る8 講演会	福島県について講演を通して学ぶ	5/14 1限	瀬戸
第22回		福島を知る9 講演会	福島県について講演を通して学ぶ	5/14 2限	瀬戸
第23回		福島を知る10 ポスター作成・発表準備	グループディスカッションや講演会より学んだことをテーマに沿ってまとめ、プレゼンテーション資料(ポスター)を作成し、発表の準備を行う	5/21 1限	G担当教員
第24回		福島を知る11 ポスター発表会	作成したポスターを使用し、プレゼンテーション(ポスターセッション形式)を行う	5/21 2限	瀬戸 G担当教員
第25回		福島を知る12 ポスター発表会	作成したポスターを使用し、プレゼンテーション(ポスターセッション形式)を行う	5/21 3限	瀬戸 G担当教員
第26回		看護師国家試験について知る1 課題の明確化	看護師国家試験について、看護学部生として必要な基本的情報・知識を論理的に分析してまとめ、調査すべき課題を明確化する	5/28 1限	鈴木直
第27回		看護師国家試験について知る2 調査の実際と発表準備	課題についてグループで調べ、プレゼンテーション資料(パワーポイント)をまとめる	5/28 2限	G担当教員
第28回		看護師国家試験について知る3 調査の実際と発表準備	課題についてグループで調べ、プレゼンテーション資料(パワーポイント)をまとめる	5/28 3限	G担当教員
第29回		看護師国家試験について知る4 全体発表と評価	作成したプレゼンテーション資料をもとに、プレゼンテーションを行う	6/4 1限	鈴木直
第30回		看護師国家試験について知る5 全体発表と評価	作成したプレゼンテーション資料をもとに、プレゼンテーションを行う	6/4 2限	鈴木直
	試験	実施しない			
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・第1～6回までは体験を通して学ぶ ・第8～11回までは主に講義と質疑応答とする ・第12回以降はテーマに沿ってグループディスカッションを行い、成果物としてまとめて発表する 				
授業外学習の指示	<ul style="list-style-type: none"> ・講義に関する資料はmanab@IMU内に提示するため、講義前に確認すること ・日頃より社会の様々な出来事に関心に向け、グループワークのテーマについて事前に調べ、自らの考えをまとめておくこと ・グループでの課題提出が必要となるため、時間外のグループワークが必要となることもある <p>(授業外学習時間: 毎週 90 分)</p>				

教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書はない ・必要に応じてmanab@IMU内に資料の配布を行う
参考書	講義内で紹介することがある
参考URLなど	特になし
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・リフレクション・シート、授業内・授業外レポートなど全ての提出物はmanab@IMUに提出する ・提出物はグループ担当教員がmanab@IMU内で適宜コメントする ・講義にはタブレットPCとiPadを使用するため、完全に充電した状態で必ず持参すること